

ユネスコスクールの取組み

羅臼町立羅臼幼稚園

園長 官代 眞由美

担当者 戸田 拓人

1、活動の趣旨

日常生活や遊びを通して、幼児が地域の自然環境と触れ合い、地域の自然に親しむ。また、地域で暮らす様々な人との交流を通して、社会性を身に付け、地域社会との結びつきを強める体験をする。これらの活動を通して、幼児に知床の自然の豊かさを体験させ、「豊かな感性」と「たくましさ」を身に付けさせるための基礎作りをする。

2、活動計画

《ねらい》

- ・自然と触れ合う事を通して、その精緻さや美しさ、不思議さ、力強さを感じ取り、自然を大切に作る心を育てる
- ・身近な動植物に関心を持ち、生命の尊さに気づき、自然を大切にする力を育てる
- ・地域の人々との交流を通して、心を交流させ、地域の産業や自然について理解し、豊かで奥深い人間性を育てる
- ・ふるさとでの自然や社会のすばらしさを知り愛する心を育てる。

	4月～5月	6月～7月	8月～10月	11月～12月	1月～3月	探求活動
ちゅうりっぷ組 (年少)	・園庭、園周辺の散歩 (草花、虫など)	・自然の草花で遊ぼう	・河原、海で遊ぼう (川・海の様子、植物など) ・知床の秋の紅葉を知ろう ・落ち葉やまつぼっくりで遊ぼう	・あしあとを探そう	・冬の山で遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう ・白鳥を見に行こう	・園庭あそび ・散歩 ・遠足 ・地域交流
ひまわり組 (年中)	・春の生き物探し (草花、虫、野鳥など) ・生き物を飼ってみよう	・食べられる野山の草 (ふき、よもぎなど) ・地域の海で獲れる魚を知ろう	・河原、海で遊ぼう (生き物について、植物など) ・知床の秋に紅葉に気づく ・落ち葉や木々などを使って遊ぼう	・秋の生き物を探そう	・冬の山で遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう ・冬の動物、鳥(おじろわし、おおわし、しかなど)	・園庭あそび ・散歩 ・遠足 ・地域交流 ・市場見学
すみれ組 (年長)	・春の生き物探し (草花、虫、野鳥、動物など) ・食べられる野草の草 (よもぎ、ふき、ごごみ、わらびなど)	・食べられる野草の草で作る (よもぎ、ふき) ・野菜を育てよう ・地域の海で獲れる魚を知ろう	・河原、海で遊ぼう (生き物探し) ・知床の生き物について教えてもらおう (郷土資料館、ビジターセンター) ・知床の秋の紅葉、生き物などを観察しよう	・漬け物を作ってみよう ・畑でとれた野菜で料理を作ろう	・冬の山、雪、氷を使って遊ぼう ・冬の動物、鳥(おじろわし、おおわし、しか、白鳥など)	・園庭あそび ・散歩 ・遠足 ・地域交流 ・植樹 ・市場見学 ・植物栽培、収穫 ・漬け物作り
施設学習	・5/11 春を探そう (年長組ビジターセンター)	・7/11 魚市場 ・7/20 昆布フェスタ	・8/30 昆布体験 (年長組) ・9/13 農林漁業体験実習館 ・10/5 郷土資料館		・2/22 ビジターセンター	

3、活動事例 ～海洋教育（昆布学習）～

【実践例①】 ～昆布フェスタ～

羅臼の若者が中心となって作っている「羅臼町活性化ワーキンググループ」が企画・運営する“昆布フェスタ”に行き、昆布漁を体験しました。昆布の作業工程を見て、実際に昆布干しや昆布巻きなどを体験しながら昆布について学びました。素手で昆布を触り、ヌルヌルとした感触に驚いたり楽しんだりしていました。

また、“食べている昆布（商品）”と“海から採れる昆布”の違いを感じつつ、二つの昆布のつながりや昆布がいろいろな用途に使われていることを知りました。また“羅臼昆布”が世界的に有名であること、フランス料理にも昆布が使われていることなども知ることができました。

昆布が地元の特産品であること、昆布に携わる地域の人が多くいることに驚きもあって、一段と昆布への興味・関心が高まりました。このような体験が、小学校で行われる昆布授業につながっていくのではないかと考えています。



【実践例②】 ～昆布番屋 見学～

地元の昆布番屋に行き、昆布漁を見学しました。漁師の方から昆布漁に使う道具の説明を聞いたり、生昆布を触ったりするなど貴重な体験をすることができました。昆布番屋にはたくさんの人が働いており、昆布の作業をすべて手作業で丁寧に行っていることに驚き、昆布漁の大変さを感じていました。乾燥した昆布についている白い粉が“うまみ”という、本来の「おいしさ」がでていることを学びました。塩だと思っていた子ども達は、とても驚いていました。実際に舐めてみて“うまみ”を感じ、幼稚園に戻ってからは、「この白い粉はなんだと思う？」「塩じゃないんだよ。“うまみ”って言うんだよ。」と得意げに、他のクラスの子に教えていました。地元の昆布漁師から昆布をもらい、昆布を食べる際に、「うまみ」が多いものを選んで食べている幼児もいました。

昆布番屋見学では、漁師の方々は、とても親切で優しく、幼児一人一人の質問にも丁寧に答えてくれました。今回の活動では、昆布フェスタで学んだことを自分達で体感したり、理解したりするだけでなく、地域の人々の温かさに触れ、幼児が地域への親しみがもてた活動になりました。



4、成果・課題 ～海洋教育より～

◇成果

- ・羅臼昆布が世界的に有名であることを知ることができた。今回の活動から羅臼の産業を知ることができた。また自分達の住んでいる羅臼が好きになったり、自分の親の仕事に興味や関心をもつことができた。
- ・様々な活動の中で、漁師の方が丁寧に質問に答えてくれるなど地域の人々の温かさを感じることができた。
- ・津波授業を通して、海には怖い一面があることを学んだ。

◇課題（今後に向けて）

- ・子ども達の羅臼の海をきれいにしようとする気持ちを大切に、活動を行っていく。